

令和2年度

宗谷シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日: 2021/3/31
---------------------	------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R2					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	①宗谷らしい景観や環境が体感できるポイントの創出と磨き上げ	-	-	-	-	-	秀逸な道の本格運用に向けて申請を行うとともに、秀逸な道の清掃活動を実施した。次年度も秀逸な道区間の活動を展開していく。
		②地場産業との連携による景観・環境の保全	-	-	-	-	-	
		③景観を美しくみせ、環境を守る清掃活動	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			秀逸な道(宗谷ストーリーロード)清掃活動	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	R2.7.5	68名	SY — 5	
		④景観や環境を保全するルールづくり	-	-	-	-	-	
		⑤フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止と駆除活動	-	-	-	-	-	
		住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	③おもてなしを演出する春・夏・秋の季節に応じた植栽活動	-	-	-	-	
	④アイスクャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩りの演出		-	-	-	-	-	
	⑤流木を活用したプランターづくり		-	-	-	-	-	
	景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ		-	-	-	-	-	
	情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ		-	-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	-	
	景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ		-	-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ 報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見 報告年月日:2021/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R2					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
環境	①住民と観光客が双方プラスになる宗谷エコレージなどのプログラムの推進		-	-	-	-			
		礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	通年	-				
		利尻山コマドリプロジェクト	利尻山登山道等維持管理連絡協議会	通年	-				
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-	-	-	-			
		②CO2を削減するシーニックの森等の植栽活動の推進	-	-	-	-			
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-			
	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	①宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催		-	-	-	-		
				-	-	-	-		
				-	-	-	-		
		②地域の将来を担う子供たちへの教育活動	-	-	-	-			
		③地域コミュニケーション形成のため、ボランティアの育成	-	-	-	-			

コロナ禍のため対面による勉強会や教育活動などは実施できない状況であった。今後も宗谷地域らしい地域づくりを模索していく。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ 報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見 報告年月日:2021/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R2					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
情報	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	①観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	-	-	-	-		道北シーニックバイウェイが連携したフォトコンテストの開催及び入選作品のパネル展を実施した。今後はアフターコロナに向けてインバウンドを含めた情報発信の強化を目指す。
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-	-	-	-		
		⑤宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	-	-	-	-		
		④ルート及び情報発信場所における看板等の設置	-	-	-	-		
		②既存ツール(ネットやSNS)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信の充実	道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員	道の駅「北オホーツクはまとなべつ」R2.6.19~6.26 稚内地方合同庁舎R2.8.3~8.14 豊富町「ふらっと★きた」R2.8.17~8.27 稚内市「キタカラアトリウム」R2.8.31~9.11 稚内市立図書館R3.2.9~2.18	-	SY — 2	
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-	-	-	-		
		③オンリーワンの情報発信内容・方法の提案	道北ルート連携フォトコンテストの開催	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	R2.6.1~9.30	応募作品数282作品	SY — 1	
	-	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウエイ	報告者:宗谷シーニックバイウエイルート代表 中場 直見	報告年月日:2021/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R2					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウエイの連携強化	①分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	-	-	-	-		コロナ禍により従来のようなコミュニケーションを取りにくい状況にあるが、意見交換会を1回開催した。今後はオンライン等を活用して、連携強化に向けたコミュニケーションの充実等を目指したい。	
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
	②地域の課題を共有し解決策などを考える勉強会やシンポジウムの開催	宗谷のみちの未来を語る会	宗谷シーニックバイウエイルート運営代表者会議	R2.10.30	21名	SY — 6		
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
		-	-	-	-			
③地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	-	-	-	-				

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催（継続）

- 【概要】 道北ルート連携フォトコンテストや道北の美しい風景をPRするために、フォトコンテストの入選作品のパネル展を開催した。
- 【主催】 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員
- 【開催場所】 道の駅「北オホーツクはまとんべつ」、稚内地方合同庁舎、豊富町「ふらっと★きた」、稚内市「キタカラアトリウム」、稚内市立図書館

パネル展開催日程

開催箇所	日程
道の駅「北オホーツクはまとんべつ」	6/19～6/26
稚内地方合同庁舎	8/3～8/14
豊富町「ふらっと★きた」	8/17～8/27
稚内市「キタカラアトリウム」	8/31～9/11
稚内市立図書館	2/9～2/18

稚内市「キタカラアトリウム」



道の駅「北オホーツクはまとんべつ」



豊富町「ふらっと★きた」



稚内市立図書館



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

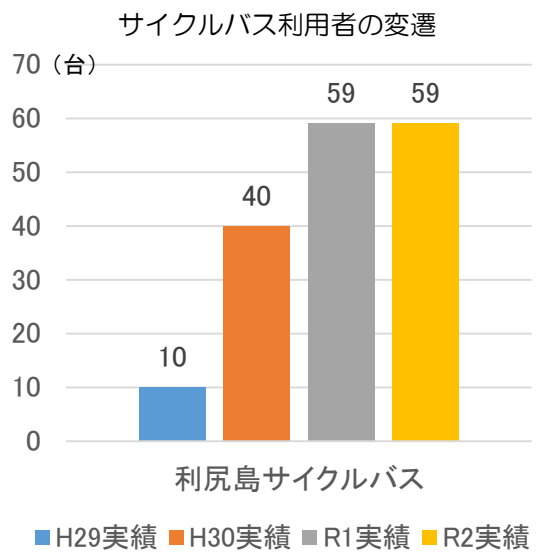
活動名：利尻島での自転車・バスの周遊観光実験（継続）

【概要】 絶景と約25kmにも渡るサイクリングロードを有する利尻島を、サイクリング適地と位置づけ、ライト層であっても気軽に利尻島約60kmを1周できる仕組みづくりを行う。平成29年度の実証実験を経て、平成30年度から本格的にサービスが開始した。

【実施期間】 令和2年4月21日～10月31日（194日間）

【自転車積載回数】：59台回
 ※H29実績 12台回（平成29年8月1日～10月31日）、H30実績 40台回（平成30年4月21日～10月31日）、R1実績 59台回（平成30年4月21日～10月31日）

- 《宗谷バスが挙げる所管》
- 当該バスが発車してから予約を受け付けない。（連絡がとれない）
 - きつく固定したつもりが、到着時緩んでることがある。
 - 一番需要が大きいのが5便・6便となった。
 - 最大 1度に5台積んだ（710号車）。
 - ワンステップバスは2台までとする。



車内で掲示されている利用案内



自転車を固定している様子

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：TEPPEN-RIDE 2020【サポートライダー試走】（継続）

【概要】 新型コロナウイルスの感染拡大によりTEPPEN-RIDE 2020は中止としたが、地域のサポートライダー育成を目的に、地域のサイクリスト等による試走を行った。

【実施期間】 令和2年10月2日～3日

【主催】 天塩川シーニックバイウェイルート・宗谷シーニックバイウェイルート

【ルート】 ナポートパーク～幌延町～豊富町～稚内市～「宗谷岬」

10月2日はナポートパークに集合し、事前ミーティングを開催。TEPPEN RIDEの概要やサポートライダーの役割、試走コースの説明等を行った。



10月3日は中川町ナポートパークから宗谷岬まで、約135kmの試走調査を行い、コースチェックや休憩箇所やビューポイント確認などを行った。



スタート前のブリーフィング



天塩川に架かる橋も通過



雄信内駅で休憩



国道40号サラキトマナイの副道



白い道も試走



宗谷岬のゴール地

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：秀逸な道（宗谷ヒストリーロード）清掃活動（継続）

- 【概要】 国道238号「秀逸な道」声問区間における沿線の美化活動。今年度はクリーンアップ わっかない2020「声問海岸クリーン作戦」と同日日に開催し、多くの方に参加頂いた。秀逸な道の清掃活動には、藤・勇JVや山本建設株、稚内印刷株、稚内ローターアクトクラブ、稚内商工会議所、稚内信金、稚内市、稚内開発建設部の68名が参加した。
- 【日時】 令和2年7月5日
- 【場所】 稚内市声問



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：宗谷のみちの未来を語る会

- 【概要】 秀逸な道の申請に伴い、稚内の観光資源にもなっている「みち」の景観及び機能をもっと磨き上げ、魅力向上に努めると同時に40号の今後のあり方について考えるため、シーニックバイウェイの産み親でもある和泉 晶裕氏を招き、語る会を開催した。
- 【日程】 令和2年10月30日
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ
- 【場所】 稚内商工会議所

参加機関

- 稚内開発建設部
- 稚内市
- 稚内商工会議所
- 稚内信用金庫
- 稚内空港ビル、
- 未来のくらしと宗谷路ネットワークを考える会
- 宗谷建設青年会
- 稚内商工会議所青年部
- 宗谷シーニックバイウェイ

【合計 21名】



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 稚内開発建設部	報告年月: 2021/3/31
---------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針		令和元年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	秀逸な道(宗谷歴史ロード)清掃活動	R1.8.26	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	国道238号「秀逸な道」声問区間における沿線の美化活動。今年度は声問海岸の清掃活動を連携して実施したため、多くの方が参加するとともに、秀逸な道のPRにもなった。	秀逸な道制度の本運用がスタートすることから、秀逸な道を中心に、地域と連携・協働し、宗谷らしい景観を守り・育てる取組を推進していく。	SY-5
環境							
情報	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	道北ルート連携フォトコンテストの開催	R2.6.1~9.30	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイと連携したフォトコンテスト。今年度はコロナ禍のため過去に撮影した写真も応募可としたためか、これまでに最も多い282作品の応募があった。	シーニックバイウェイに関する活動や秀逸な道などの地域の美しい景観に関する情報について、地域と連携しながら、情報発信を強化していく。	SY-1
		道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催	道の駅「北オホーツクはまとんべつ」 R2.6.19~6.26 稚内地方合同庁舎 R2.8.3~8.14 豊富町「ふらっと★きた」 R2.8.17~8.27 稚内市「キタカラアトリウム」 R2.8.31~9.11 稚内市立図書館 R3.2.9~2.18	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	道北ルート連携フォトコンテストのPRや道北の美しい風景をPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を開催した。住民や旅行者が集まる場所で、パネル展を開催することで、多くの方にPRすることができた。		SY-2
観光		道北版スイス・モビリティ関連事業「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」	R2.4.21~10.31	宗谷バス(株)	自転車をそのまま積載できる「サイクルバス」を利尻島の路線バスとして運行した。本格運行が今年度で3年目となり、島内にサイクルバスが定着しつつある。コロナ禍であったが、昨年と同様の利用者数であった。	アフターコロナを踏まえインバウンドも含めた観光ニーズや観光者の多様化に対応しながら、宗谷地域においても持続可能な観光地形成を進めていく。	SY-3
		TEPPEN-RIDE 2020【サポートライダー試走】	R2.10.2~10.3	天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議・宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	コロナ禍によりTEPPEN-RIDEが中止になったため、サポートライダーの育成を目的に、地域のサイクリストと一緒にTEPPEN-RIDEコースの試走を行った。新たなサポートライダーの発掘等を行うことができた。		SY-4
		きた北海道ルートサイクルツーリズム連絡会議 宗谷地区部会の開催	R2.8.31 R3.1.29	稚内観光協会、宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、稚内観光協会	きた北海道ルートにおける宗谷地区のサイクルツーリズムを推進するために、宗谷地区部会を開催した。2回目の地区部会には、諏訪湖の小口氏を講師として招き、サイクルツーリズムに関する話題提供を頂いた。		
		宗谷のみちの未来を語る会	R2.10.30	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	シーニックバイウェイの生みの親でもある和泉氏を招き、宗谷のみちの未来を語る会を開催した。宗谷・稚内の今後の姿やみちのあり方について意見交換した。		SY-6